

甲斐まこと略歴

- 2002年 法政大学第二高等学校卒業
 2006年 法政大学経営学部経営学科卒業
 俳優活動開始 映画「クローズZEROⅡ」、
 「救命病棟24時(フジテレビ系列)」など出演
 2011年 東京消防庁入庁 ポンプ隊、救急隊、指揮隊、
 総合司令室を歴任
 2019年 東京消防庁退職 映像制作会社で起業
 2022年 株式会社扇設立 代表取締役就任
 2024年 「DayDay.J(日本テレビ系列)」「ABEMA
 Prime」に消防コメンテーターとして出演
 2025年 「119 ～エマージェンシーコール～ (フジテレビ系列)」指令管制員としてレギュラー出演

消防・救急の現状をAbemaPrimeで
コメンテーターとして解説しています。

命を守る最後の砦である救急車の出場件数が年々
増えています。それによる弊害も増えています。こ
のAbema Primeを見ていただくと、「119番」の課
題が見えてきます。ぜひご視聴ください。



災害に強いまちづくり、救急医療の充実、地域
防災の強化、被災後の迅速な復旧・支援、そして
誰もが日々安心して幸せに暮らせる仕組みづく
り。そのすべては「人の命を守る」という一点か
ら出発します。
「命を守る」ことは「現在を守る」こと。そして、こ
の街の「未来を守る」ことにもなります。

そう考えると、命を守るために今いちばん政
治が向き合わなければならないのは、防災や減
災はもちろんのこと、「保育園に入れない親御さ
んの悩み」や「働きながら子育てや介護を両立さ
せる難しさ」、そして「進学や就職に希望を見出
せない若者たちの不安」など、“暮らしの現場”の
声だと気づきます。だからこそ、防災、医療、子育
て、教育、介護、日々の生活——どれひとつとし
て切り離すことはできないと思っています。

プロフィール動画は
こちら (YouTube)



@甲斐まこと公式チャンネル
消防官の経歴、防災士としての
知識を活かした救急や防災に
ついての情報も発信しています。
ぜひご登録ください！



市政レポート

甲斐まこと 活動報告

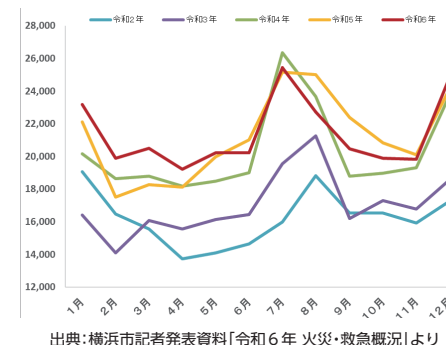
SUMMER

- 1 救急車の到着を1秒でも早くするために
- 2 地域の実情にあった防災体制づくりを



夏本番！今年も救急出動件数が
増加する季節になりました。

暑さが本格化するこの時期、熱中症による救急搬
送が急増します。特に7月から8月にかけては、横浜
市内でも救急出動件数が通常月と比べて**3～4割以
上増加**する傾向があり、現場では「あと1分早ければ
…」というケースが現実起きています。



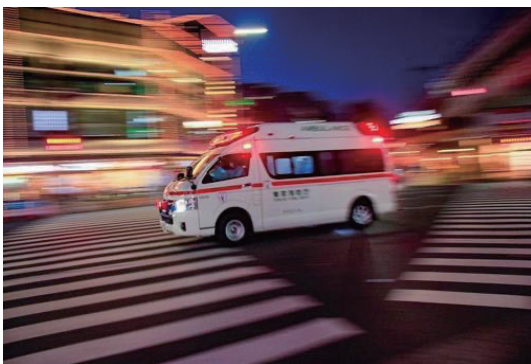
この夏に、あらためて問いかけたいのは「私たちの
街は、本当に命を守る備えができているのか？」とい
うこと。その視点から、救急と防災、それぞれの現状
と課題、そしてこれからの取り組みをまとめました。

1 救急車の到着を1秒でも早くするために

救急車は命を救う大切な資源ですが、出動が増えすぎると、本当に必要な人のもとに届かなくなってしまいます。その課題を解決するカギが「**#7119救急相談ダイヤル**」です。救急車を呼ぶべきか迷ったときに、専門の相談員が症状を聞き、適切な助言をしてくれます。これはもっと市民に広く周知すべき制度です。

また、アメリカ・シアトルでは、民間救急や他機関と連携することで、**限られた119番を重症者に集中させることで、救命率を高めています**。これは横浜市でも応用が可能です。さらに、**救命講習を学校教育に取り入れる**ことで、地域に応急処置ができる人を増やし、救急車が来るまでの“命のリレー”を支える力になります。

救える命を取りこぼさない。そのための仕組みづくりを、今こそ進めましょう。



2 地域の実情にあった防災体制づくりを

金沢区は海・山・街が共存する災害リスクの高い地域です。しかし、横浜市全体で**消防団員の確保が課題**となっており、現在も多くの地域で定員割れが続いています。

そこで注目されるのが「**機能別消防団**」。本業を持ちながら災害時だけ活動する形や、**ライフセーバーなどの専門人材との連携を強める**ことで、活動のハードルを下げるのが可能です。金沢区の特性に合った地域密着型の防災体制を構築し、“助ける力”を地域で持てるようにしていきましょう。

区民が愛する金沢の美しい自然が、人命を奪うような悲しい舞台にならないためにも、**この街に合った防災体制を再構築することが今、求められています**。私はみなさんと一緒に、金沢区民の命を守る体制づくりを積極的に推し進めていきます。



ぜひ、甲斐まことの「エマージェンシーコール（アンケート）」に、あなたの声をお寄せください。みなさんの声を“119番”のように受け取り、しっかりと市政に届けていきます。

エマージェンシーコール
(アンケート)



この街の防災や
防犯に関すること

出産や子育て、
教育に関すること

介護や高齢者福祉に
関すること

物価高など
生活に関すること

命を守ってきた経験を、市民の暮らしを守る政治へ。「制度はあるけれど届かない」その壁を壊すのは、市民の声を“聞く力”と“動かす仕組み”です。ぜひ一緒に、支え合いの届く街をつくっていきましょう。



甲斐まこと公式
WEB サイト



公式 LINE

甲斐まこと後援会事務所

〒236-0031 神奈川県横浜市金沢区六浦4-15-30-302

☎090-7238-2453 ✉support@makoto-kai.com